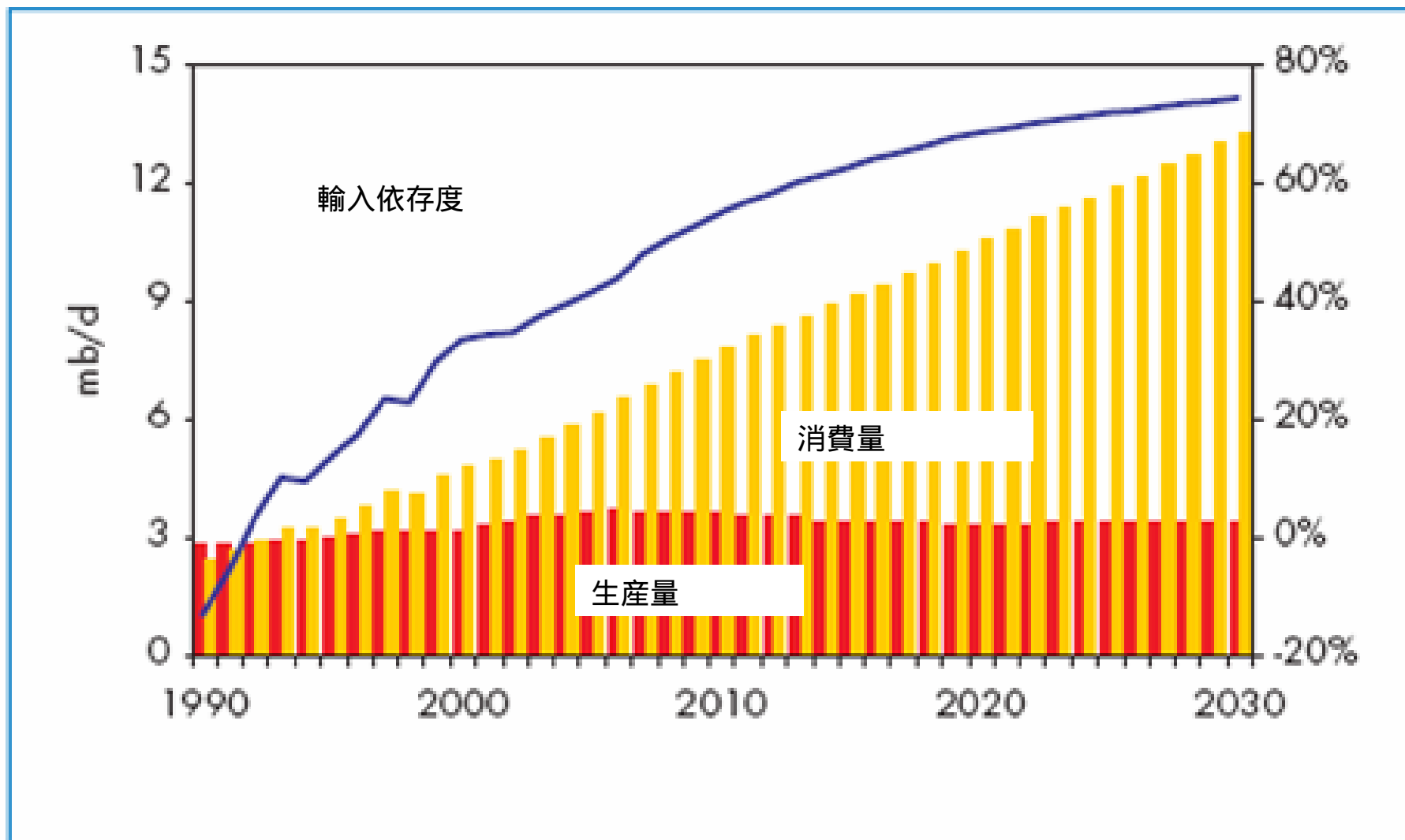


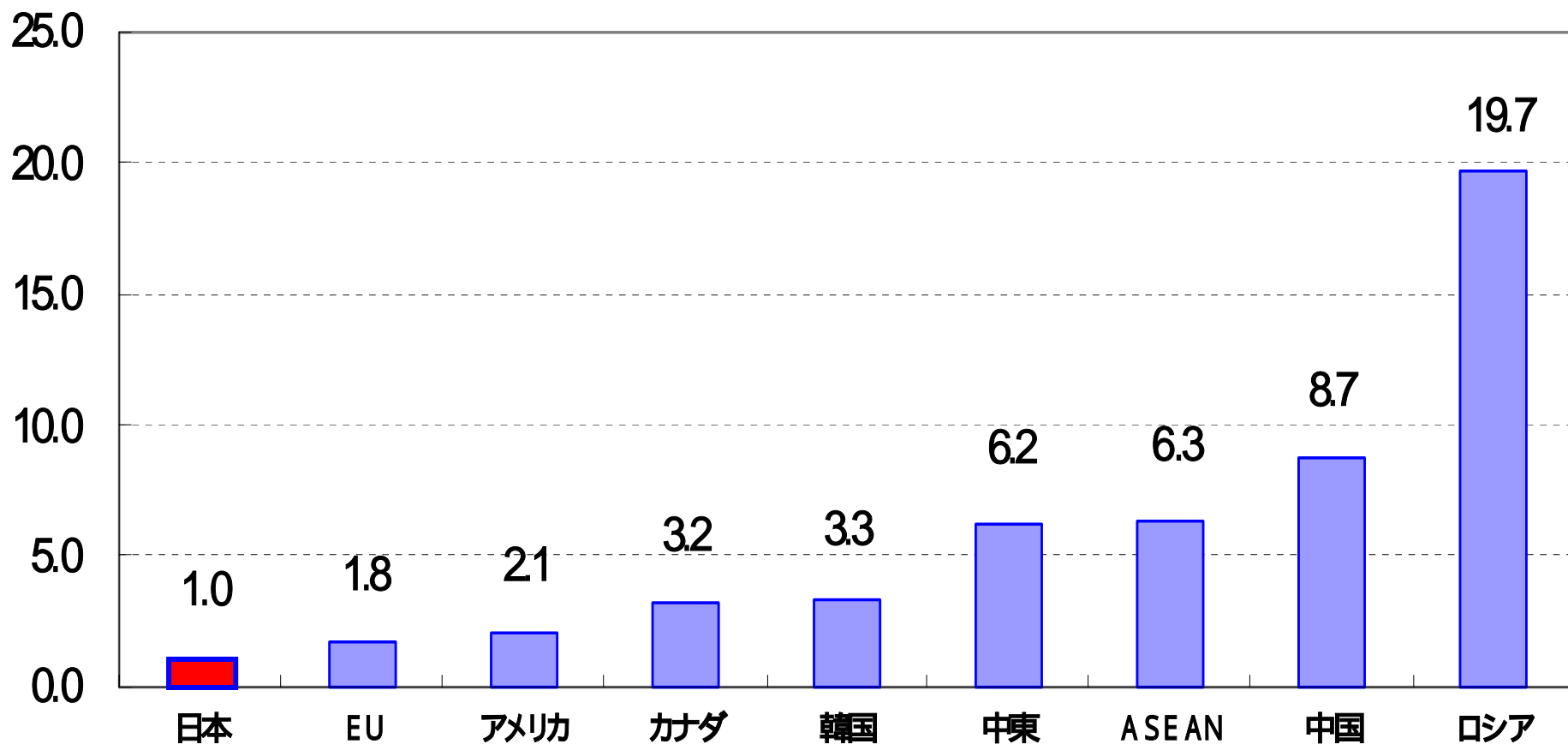
## 中国の石油消費量等見通し

参考



## GDP単位当たり一次エネルギー消費量の国際比較

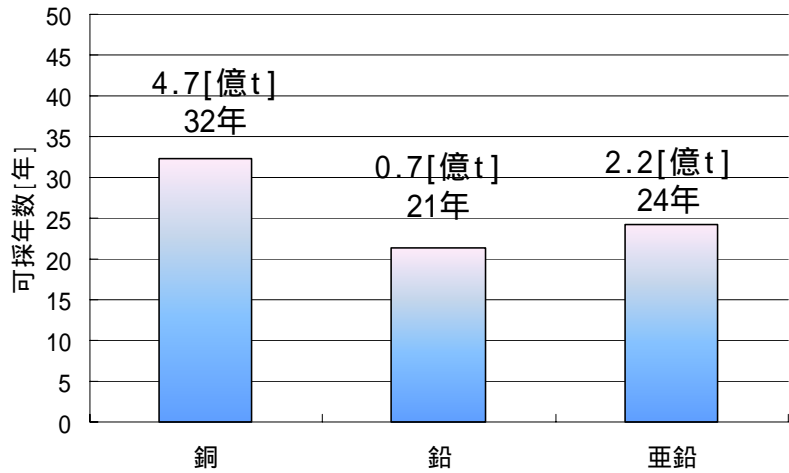
参考



(出典)IEA Energy Balance 2005

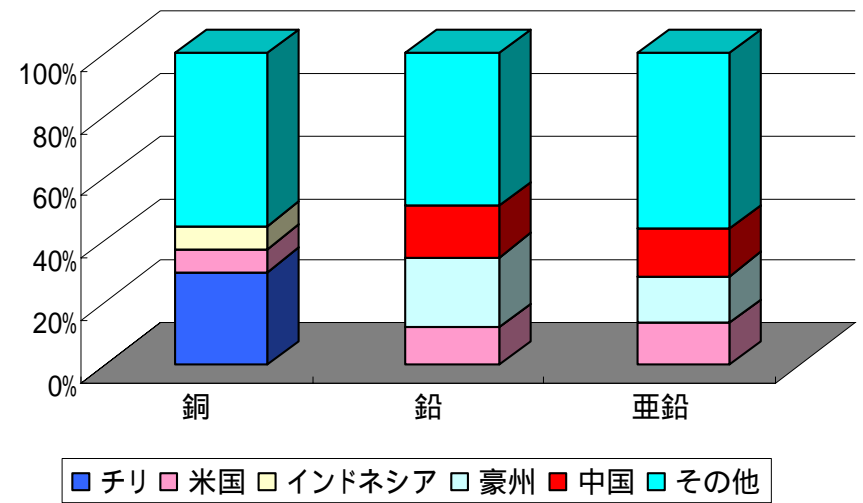
# 鉱物資源を巡る情勢：鉱物資源の位置付け

ベースメタルの埋蔵量と可採年数(2004年)



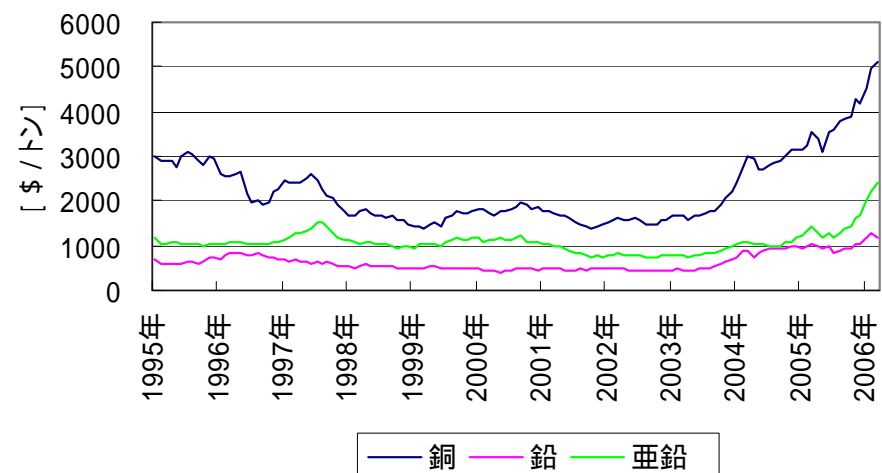
(出典) Mineral Commodity Summaries 2005

ベースメタル埋蔵量分布(国別)(2004年)



(出典) Mineral Commodity Summaries 2005

非鉄金属価格の推移



(出典) ロンドン金属取引所 (London Metal Exchange)

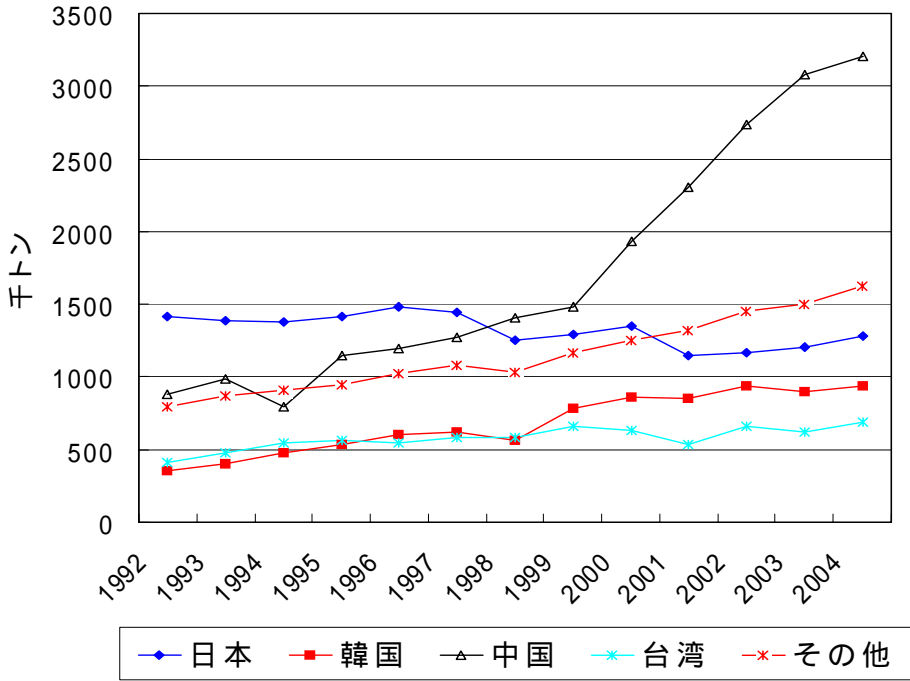
レアメタル価格の上昇率

	2003年 3月	2006年 3月	対2003年3月 比
ニッケル地金 (US\$/kg)	8.38	14.90	+178%
コバルト地金 (US\$/kg)	20.39	30.49	+150%
モリブデン (US\$/kg)	10.21	50.35	+493%
インジウム (US\$/kg)	117.19	977.75	+834%
タングステン (US\$/MTU)	43.75	181.50	+415%

(出典) ロンドン金属取引所 (London Metal Exchange), Metals Week誌, Metal Bulletin誌

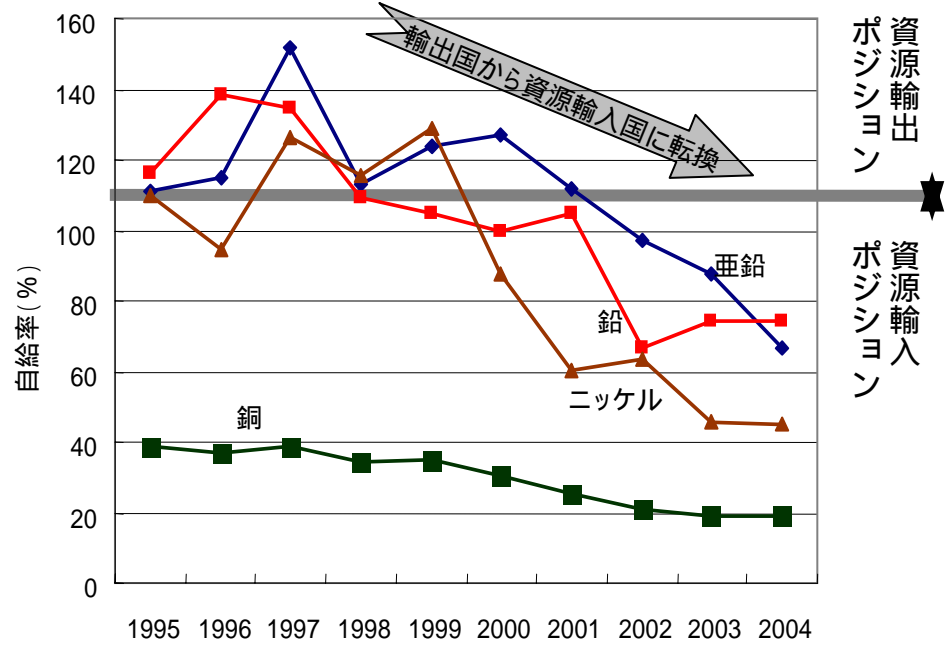
# 鉱物資源を巡る情勢：世界の鉱物資源の需要動向

## アジアの銅地金消費(国別)



(出典) World Bureau of Metal Statistics 2005

## 中国の鉱物資源の自給率の推移



(出典) WBMS等

## レアメタル備蓄

代替が困難で、供給国の偏りが著しいレアメタル7鉱種について、短期的な供給障害等に備える備蓄制度を実施(国家備蓄及び民間備蓄)。

**備蓄対象7鉱種**  
 ニッケル、クロム、モリブデン、マンガン、タングステン、コバルト、バナジウム

国内消費量の60日分を目標とし、2006年3月末の平均備蓄量は35.3日分(うち、国家備蓄は24.9日分)。

中国における需要拡大等を背景として、多くのレアメタル価格は、2004年以降歴史的な上昇を記録。このような状況を受け、需要家の要請を踏まえつつ国家備蓄を売却し、需給タイト感を緩和。

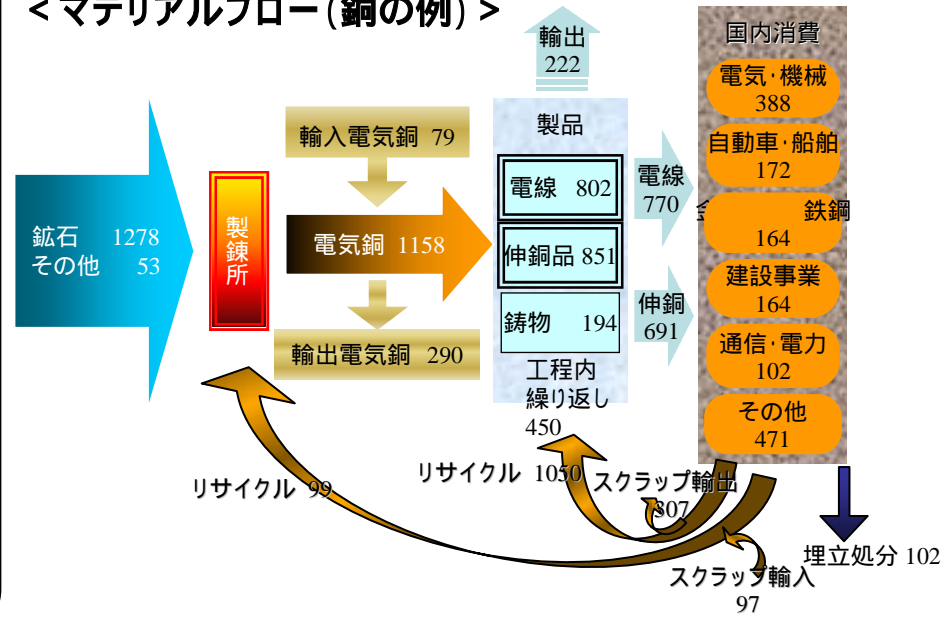
1983年の制度発足以降、これまでに、11回の備蓄放出(マンガン、モリブデン、バナジウム、タングステン等)を行った(2003年7月以降に10回放出)。

## 非鉄金属のリサイクル

今後は、非鉄金属の製錬技術等を活用したリサイクルが重要。

現行技術では処理困難な物資(自動車のシュレッダーダスト等)について、リサイクル技術開発を実施。

### <マテリアルフロー(銅の例)>



(出典)JOGMEC 鉱物資源マテリアルフロー-2004 (2003年ベース) 単位:千トン